

話の途中ですが、自己紹介…

- | | |
|------------|---|
| 1980年 | 大阪北部の田園が残った地域で生まれる。 |
| 2002年 | 大阪の医療系専門学校を卒業。
作業療法士となる。 |
| 2002～2009年 | 「地域リハビリテーション」という概念が
確立していない時から、「在宅医療」中心に
活動。
診療所、クリニック、福祉施設などで働き、
福祉用具の営業を経験。 |
| 2009～2013年 | 医療系大学の助手。 |
| 2014～2016年 | 地域おこし協力隊として、実施隊チーフに任命される。 |



唯一の白衣写真

人の「障害」から獣による「被害」へ…。

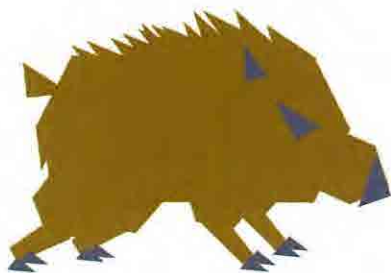
共通するのは、地域での生活にかかわる問題を解決すること。

だから、こんな風に考えています…



その個人に「病気」や「不自由」などがあって、人的・物的環境に「障害」があった場合、個人なり、環境なりを変えて「障害」がなくなれば良い。

「病気」や「不自由」があっても、そのことに苛まれる機会や時間を減らせば良い。



その**集落**に「**イノシシ**」や「**クマ**」などがいて、人的・物的環境に「**被害**」があった場合、**集落**なり、環境なりを変えて「**被害**」がなくなれば良い。

「**イノシシ**」や「**クマ**」がいても、そのことに苛まれる機会や時間を減らせば良い。

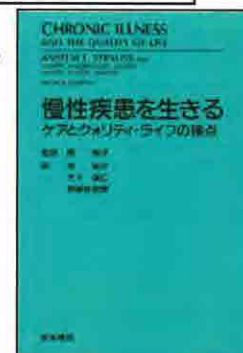
今、集落が罹患している病気って何だろう？

→「慢性疾患」じゃないかな？

慢性疾患の特徴

長期的で、不確かで、不経済で、多くの場合重複していて
きわめて侵害的であり、治療不可能なので姑息的である。

— ストラウス「慢性疾患を生きる」 —



今、集落には問題がいっぱい！

人手不足、後継者不足、耕作放棄地の増加、高齢化、
鳥獣被害、空き家問題、認知症、買い物、自動車の運転、
公共交通、などなど…

本当は総合的に解決を図る視点、体制が必要だが、
鳥獣被害問題だけに着目してみよう！

鳥獣被害を「慢性疾患」として捉えてみる。

慢性疾患の特徴

長期的で、不確かで、不経済で、多くの場合重複していて
きわめて侵害的であり、治療不可能なので姑息的である。

— ストラウス「慢性疾患を生きる」 —

「20年位前から、被害があつたりなかったりで、何かとお金がかかって、色んな動物がきて、イノシシに至っては農業施設にまで被害を出すし、猟師に獲ってくれ!と言ってるが、全滅させることもできないから、とりあえずその場しのぎになってます。」

といったところでしょうか。

慢性疾患に罹患した時、重要なポイントがあります。

それは「治療者まかせでは、解決しない」ということです。

患者にも役割がある！

	急性疾患	慢性疾患
初期	急速	徐々に
原因	1つの原因	多くの原因
期間	短期	不定
診断	一般に正確	不確かなことが多い
治療	一般に治癒する	治癒はまれ
専門職の役割	治療の選択と実施	指導者であり、パートナーである
患者の役割	指示に従う	医療従事者のパートナーであり、 日常管理の責任を持つ

ー日本看護協会出版会「慢性疾患自己管理ガイドンス」ー

「肥満」の人が、脂肪吸引だのエステだの行っても
「ドカ食い」してたら、意味がないですよね…。

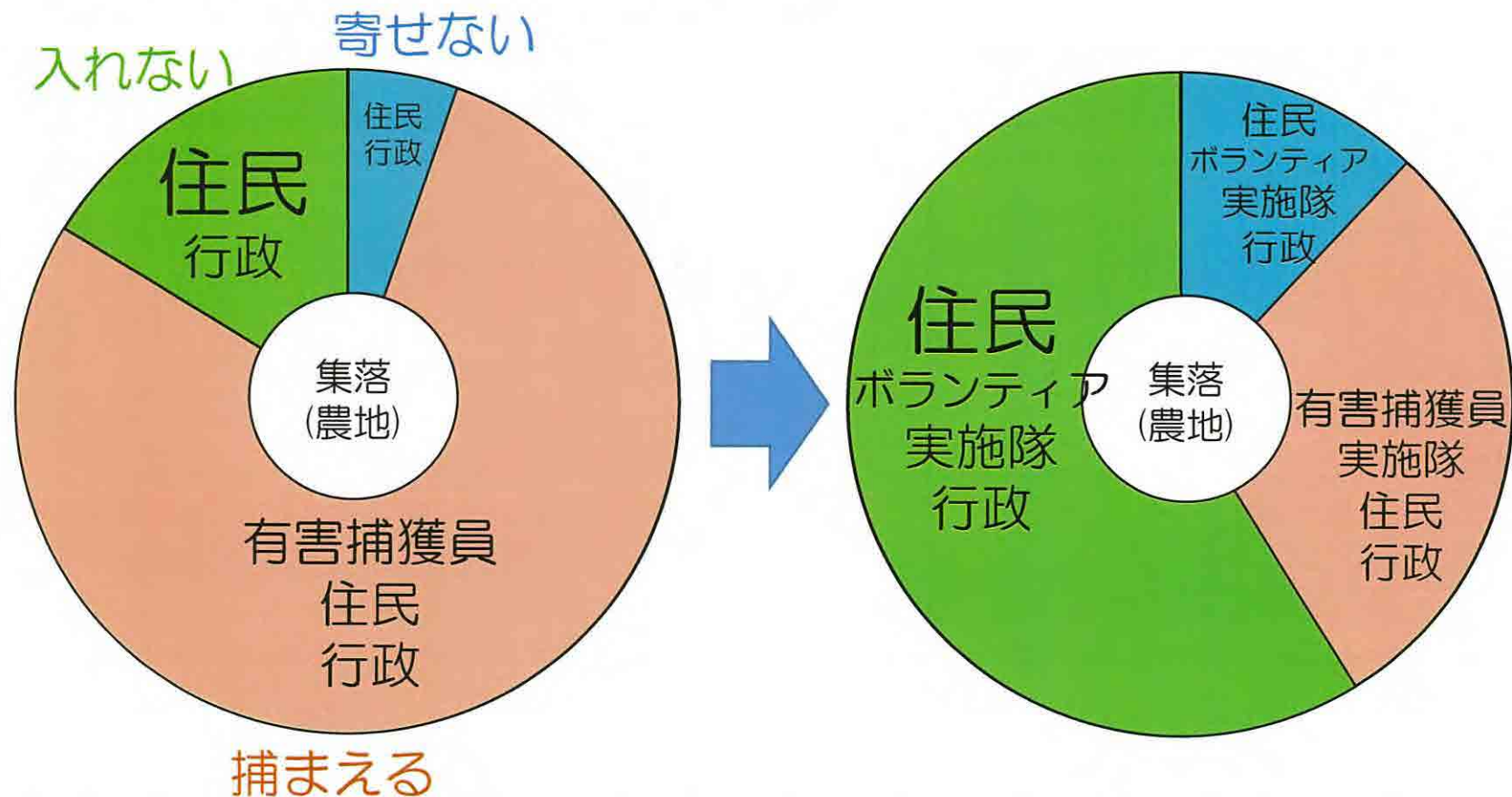
今ある機能を維持しつつ、病状をコントロールする！

→3つの対策をどのように考えるか？

対策	例えるなら…	
有害捕獲 (捕まえる)	鎮痛薬	病気に対して直接的に働き、劇的な効果を発揮する。 処方間違えると効果がないどころか、副作用が生じて体を弱らせる。
侵入防止 (入れない)	常備薬 予防薬	病気が悪化するのを防いで治療する。病気の初期、 予防に効果的。用法・用量を間違えると効果がない。
環境改善 (寄せない)	漢方薬	病気になりにくい体質に改善していく。 即効性がないので効果が分かりにくい。

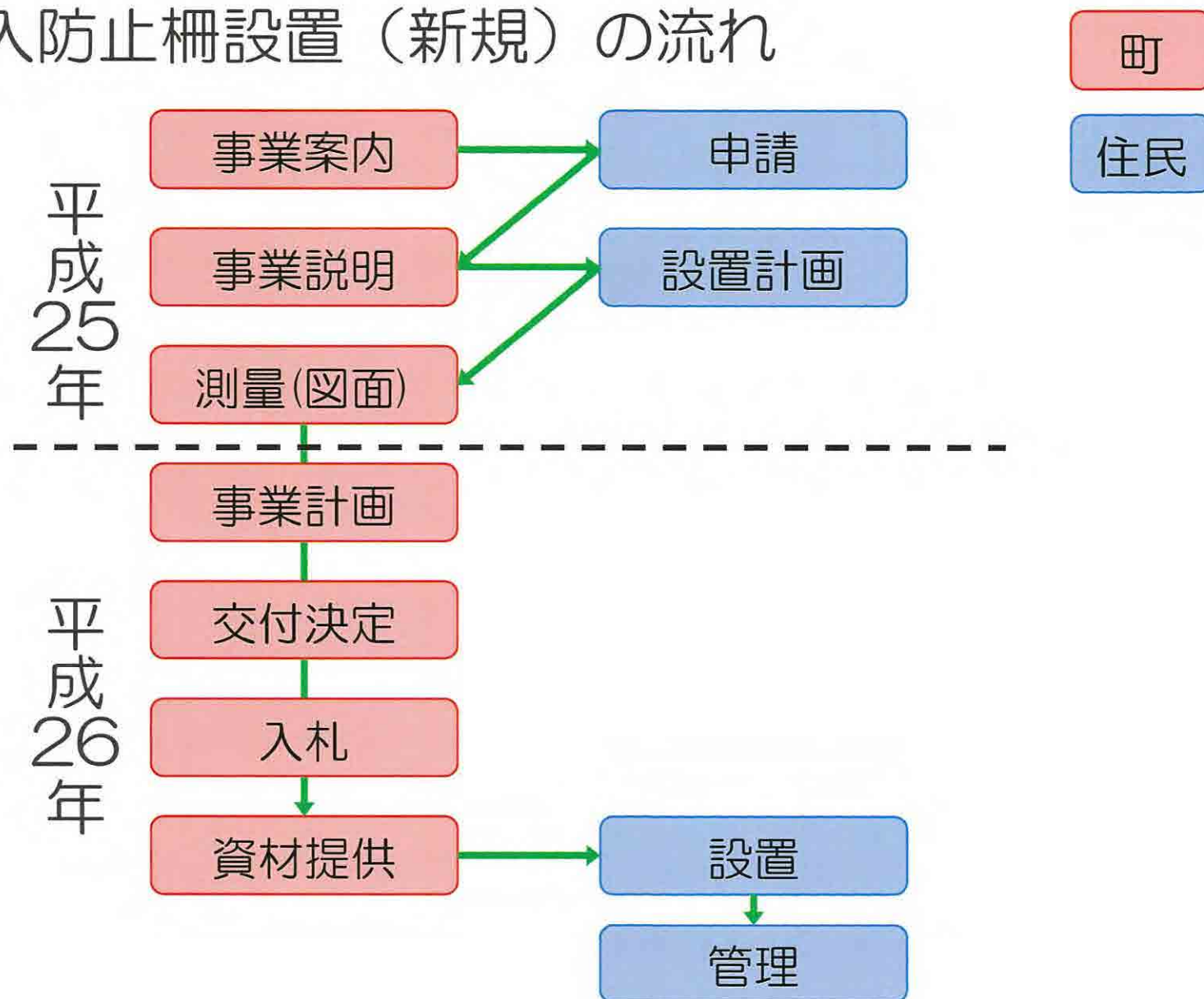
適当な運動をし、適切な食事を摂って、機能維持を図りながら
体質を改善し、病状が悪化しそうな時には早めに病院に行ったり、
薬を服用し、どうにもならない時は、外科的治療も行いながら、
「病気」に苛まれる時間を減らして、「日常」生活が送れたら良いよね～。

どの対策を優先的に推進するか？

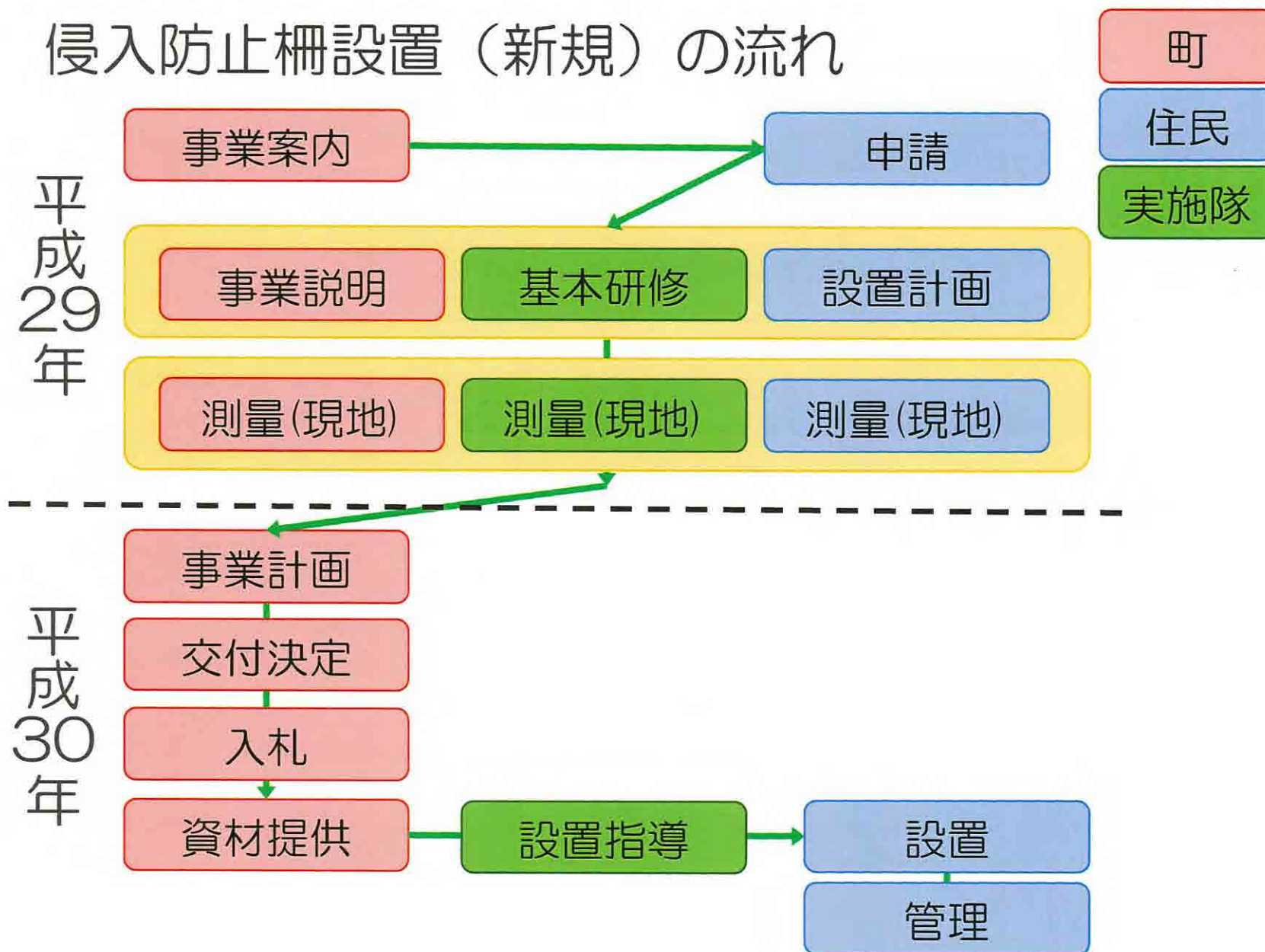


集落としての機能を維持しながら、効果がはっきりした治療を目指す！「入れない」対策の重視！

侵入防止柵設置（新規）の流れ



侵入防止柵設置（新規）の流れ



基本研修会 みんなで学んで、「あきらめ」を払拭する！



侵入防止柵設置地区に「対策の基本」研修会を開催。
国事業、県事業で実施するためには、必須条件とした。
基本研修の実施で、**無茶な設置計画を抑止**でき、また
住民の考えを統一化し、**住民間の合意形成が得やすい**
などのメリットがある。

現地測量 みんなで歩いて、考える！



細々とした地域の問題の折衷案を見つける。
今、行っている対策の「間違い」は改善してもらおう。
「守る」農地をしっかりと考えてもらおう。

施工指導 みんなで汗かき、作業する！



作業を行う中で難しくなれば、すぐに呼んでもらう。
ボランティアが関わる時は、イノシシの特性など
簡単な説明を行ってから施工指導する。